

発行
特定非営利
活動法人
さんしょうの会

さんしょうの会

〒506-0807
高山市三福寺町129
電話・FAX
0577-32-8709

特殊浴槽購入のためのご寄附のお願い

平素よりお世話になっております。NPO法人さんしょうの会です。

当法人は1989年に当時の飛騨養護学校に通う児童の親たちが、我が子の行く末を見つめ、「重い障がいがあっても地域の中で心豊かに、自分らしく生活できる場所をつくりたい」と教師や地域の方々と立ち上げました。

現在は、障害福祉サービス事業所として障がいのある利用者が日中通って働くことのできる「きららハウス」と「第2きらら」短期入所事業所「きららの家」を運営しています。

「きららの家」では、入浴や排泄及び食事等の日常生活の支援を行っており、宿泊以外にも日帰り利用を行っています。また、介護ベッドを設置し、重度の身体障がいのある方々にも利用していただいています。しか

し、浴室は手すり等を設置してはいますが、一般家庭と同じ形状のものです。重度の身体障がいのある方の入浴は職員2人で抱きかかえるなどして支援しています。十分に注意を払い、安心安全に入浴していただけるよう心がけていますが、心身共に負担がある状況です。

また、事前に行ったアンケートでは、重い障がいのある利用者のご家族より「今は週に2回しか入浴できていないので、利用できるならありがたい」という声や「今は小さいので家で入浴できているが、将来的には難しい。その時に利用できる場所があるか心配」という声がありました。

そこで当法人では、車椅子に座った状態で入浴できる特殊浴槽を購入し、重度の身体障がい

のある方々が、より安全で安心して入浴できるようにしたいと考えています。

しかし当法人の自己資金だけでは実現が難しく、賛同いただける方からのご寄付をお願いできたらと思っております。満足のいく回数を入浴できていない方々、将来必要となる方々の為にも皆様の御力を貸していただけないでしょうか。ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人
さんしょうの会

理事長 熊崎元康
施設長 道添健太郎

~~~~~  
~~~~~

※ お手数かけますが、同封の振り込み用紙にて送金いただく

新職員紹介・田中維之さん

この度「さんしょうの会」で主に利用者さんの送迎を担当させていただくことになりました。田中維之（たなかただゆき）と申します。6月からお世話になり、早いもので4カ月がたちます。まだまだ慣れないことも多く、スタッフの皆さんに助けられてばかりですが、早く力になれるよう頑張りたい

と思っています。

私には現在、高校生と中学生の息子2人がいます。次男は680グラムの超未熟児で生まれてすぐ命の危険を何度も乗り越え、重度心身障害が残りましたが、今では元気に毎日を過ごしています。

さんしょうの会で日々利用者さんと接するたび、私

の頭の中には常に次男の顔が浮かびます。「けがなく元気にしているだろうか」「怖い思いはしていないだろうか」「楽しく時間を過ごしているだろうか」…。次男は平日、夕方にデイサービスの送迎スタッフが運転する車で家に帰ってきます。身体を抱え送り届けてくれたスタッフを玄関で見送った後は居間に直行し、夕食までお気に入りのユーチュー

ブ動画を眺めるのがいつものルーティーンですが（笑）、リラックスした体勢でたまに声を上げて明るく笑っている横顔を見るたびに幸せを感じ、癒されています。

私も、さんしょうの会の利用者さんにそんな明るい笑顔の一つでも多く作れるお手伝いができたらと心から思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

寄稿 きららハウス20周年に寄せて 中畠前理事長

20年前の自分は労働組合と仕事面でも責任があって大変な毎日を過ごして居りました。今、息子隆雄は38歳になりました。養護学校高等部を卒業し社会人としての行き先がなく、高等部2年生の頃より家族で悩んでおりました。ちょうどその時期に志賀厚子さんと今井田文司さんが中心になって新しい通所作業施設を立ち上げる話がありました。実現するかどうかの可能性も分からないまま見切り発車したのです。空町の民家で他団体と共同利用での施設が始まりましたが、趣旨の異なる他団体との共同利用には限界があり現在のきららハウスに移転開所しました。志賀家の家族様の多大なご支援により実現で

きたことは言うまでもありません。

いま思えば運営資金も無いなか度胸よく開所にこぎつけられたなと思います。そこからが志賀理事長のリーダーシップと今井田文司さんの行動力に牽引されて親御さん全員と一緒に資金稼ぎ焼きそば屋の始まりです。僕の仕事はガスコンロ、プロパンガス、鉄板、調理台の運搬搬入と撤収作業、倉庫への片付け作業でしたが続けているうちに、すっかり定職になっていました。

清見のイベント、総合福祉センターの夏祭り、駿河屋のイベント、一之宮お寺様のイベント、校下運動会など必死にやってきました。毎年恒例

の土岐先生や学生たちとの美女高原キャンプで親御さんたちと飲んで語れて楽しかったことを思い出します。

「さんしょうの会」は、きららハウス、ゆめ匠パン工房、第2きらら、きららの家と、とどまることなく発展してきましたことはすごいことだと思います。私は70歳になって今のところ元気ですが、隆雄の行く末を切実に心配しています。これまでに各地のグループホームを見学してきましたが、「さんしょうの会」にとってグループホーム建設は長年の目標であり課題でした。私たちの世代では実現できませんでしたが、近い将来夢叶うことを願っております。

ムジカ音楽教室の山腰恵子さん

こんにちは
山腰恵子です。

きららハウス20周年おめでとうございます。

毎年ムジカ音楽教室の発表会の引出物は、きららさんの、パンと、クッキーと、決めています。

生徒さんの声です。

「きどってなくて、お菓子好きのお母さんがせっせと作ったクッキーって言う感じでよかったです。」

「おうちで、ごはんのあと家族みんなで美味しいねと、楽しみに食べています。」

「はっぴょうかいには、ながいので、ロビーではんぶんたべたてしまっけんきがでました。」など、毎年皆さんに喜んでいただいています。

小中校教員だった私が養護学校に勤務して、ひとりひとりにあわせた教育は、まるでオアシスだとおもいました。

退職してからは、音楽教室で色んな方を指導させていただいています。発表会は、一大イベントです。一生懸命弾いてくれた生徒の皆さんや、たくさんお手伝いしてくださった方々にも、きららハウスの

プレゼントはすごく好評です。

きららの皆さまが、心こめて、ていねいにつくってくださったパンとクッキー、皆で大切にいただきます。

これからも、どうかよろしくお願いいたしますm(_ _)m
楽しみにしています。

~~~~~  
山腰さんは、さんしょうの会の前身、障害児教育をよくする会のメンバーで、さんしょうの会の会員です。